

平成27年度 生活指導統一基準「身に付けさせる規律・規範」に関する全体計画

都立 東大和 学校 全日制 課程

教育目標
<ul style="list-style-type: none"> ○ 積極的態度の養成（積極的・自発的に知力・体力・学力の向上に努力し、有為な人材を育成する） ○ 基礎的教養の把握（豊かな人間性を養い、優れた社会人となるための基礎的教養を身につける） ○ スポーツの振興（体力の増強と強い意志・協調の精神を育成する）

生徒の実態・生活指導上の課題
<p>行事や部活動に積極的に参加し、意欲や活力にあふれた生徒が多い。部活加入を全入とし約80%の生徒が運動部に、約20%の生徒が文化部に所属している。部活単位での活動が多いため部長会を通じた指導形態が多くとられている。自宅または最寄り駅からの自転車通学者が半数以上なので、マナーや事故などが課題となっている。</p>

地域からの要望・学校運営連絡協議会の意見等
<p>特別活動では、「協調性・社会性」や「忍耐力・根気」を養うために、行事や部活動を充実させ、達成感と自信を獲得させる。生活指導においては、社会性・規範意識を育成し、自転車通学のマナーと同時に身だしなみ指導について指導していく。</p>

教科・科目との関連	学校経営計画に示された指導の重点（生活指導）等	特別活動との関連
<p>「保健体育」保健の授業や体力テストの実施などを活用し、スポーツ活動を活性化することで、生涯にわたり健康で安全な生活を営む力を身につけさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動や行事の活性化を図ることによって、健康な身体と学校への帰属意識を育成する。体罰根絶を継続する。 <ul style="list-style-type: none"> ① 部活動への参加を促し、目標に向け努力を続ける姿勢や協調性や自主自律の態度を育成する。 ② 各顧問が相互に協力し、学校全体の部活動の活性化を図る。 ③ 部活動の連携を強化し、互いに切磋琢磨することで学校への帰属意識を一層高める。 ④ 体罰根絶に向けた指導者や保護者の意識啓発を図る。 ⑤ 総合的な子供の基礎体力向上方策（第2次推進計画）に基づいた体力向上を図る ○ 挨拶の励行と時間を守る態度を育成することによって、社会性や規範意識の育成を図るとともに、いじめ防止の徹底を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ①生活指導統一基準全体計画を作成し職員の共通理解を図る。 ②よい生活習慣と規範意識を育成し、社会人として求められるマナーや社会常識を身につけさせる。 ③自ら進んで校則を守ることを意識させ、自律できる生徒の育成を図る。 ④いじめ防止対策のための組織体制を整備する。 	<p>多くの体験活動を通して、協力することの大切さや日々の努力の積み重ねの大切さ、困難にめげない力を高める等、人間的な力を高めさせる。</p>

総合的な学習の時間との関連	(共通指導) 授業開始のチャイムとともに授業を開始し、生徒に『時間を守る』意識を育成する指導	教科「奉仕」との関連
<p>自己の良さや保有する能力を、他者や社会とのかかわりの視点を踏まえて理解させ、人としてのあり方・生き方を考えさせる。</p>	<p>【取組の工夫】校門指導や教科担任の着席指導を徹底することによって、「時間を守る」意識を育成する。行事や部活動との切り替えを徹底することで、時間のロスを無くし互いに向上できるよう切磋琢磨しあう。</p> <p>【検証方法】教科担任・担任・分掌が連携し現状を把握することによって、遅刻指導・授業着席の徹底を図る。提出物指導を通じて時間を守ることの大切さと準備を計画的に行うことの大切さを理解させる。</p>	<p>体験活動等を通じて地域・小中学校との交流を推進し、責任感や協調性を育み、社会貢献の意欲を培う。</p>

身に付けさせる規律・規範に基づく指導					
指導内容項目	公共の場・交通機関でのルール・マナーを守ることができる生徒	時と場所に合った、身なりや所作がきちんとできる生徒	相手の立場を踏まえた適切なコミュニケーションができる生徒	時間を意識して行動できる生徒	授業規律を守ることができる生徒
目標設定の背景	近隣住民からの苦情や交通事故発生原因の分析結果	登下校時のマナーや学校運営協議会での要望	授業や行事・部活動でのよせられた意見	授業開始時間の徹底、保護者面談での要望	校内研修で改善事項・指導の徹底
具体的な行動目標	<ul style="list-style-type: none"> ○自転車の併走、イヤホンをつけたままの走行はしない。 ○電車内の迷惑行為（大きな荷物・おしゃべり等）をしない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内・校外を問わず、自ら進んで行う挨拶 ○学校生活にふさわしい服装・身なりの徹底。 	<ul style="list-style-type: none"> ○状況を理解し、相手の立場に立ち発言をすることができる。 ○集団の中で、責任感・協調性ある行動をとれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○チャイム着席の励行。特に朝昼練習後の行動を意識しはじめをつける。 ○宿題・提出物などの期限を守る為に、準備を計画的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に集中するための、事前準備を計画的にすることができる ○持ち物の自己管理、整理整頓を習慣づける。
学校経営計画における記載	交通ルールの遵守と自転車通学のマナーを向上させる	指定された制服をきちんと着ることで、規範意識を高める	挨拶を励行することで、社会生活の基礎を養う	時間を守る態度を身につけさせ、互いを尊重する心を養う	部活動と学業を両立できる生活習慣を身につけさせる。
指導方法	外部機関とも連携し、セーフティー教室を年間3回実施する。定期的な近隣交差点での自転車指導を行う。	服装指導（各学期の始めの学年集会時・行事前などに担任・生活指導部で行う）	授業・特別活動・部活を通じた指導	授業・特別活動・部活を通じた指導	授業・特別活動・部活を通じた指導
指導体制	生活指導部 学年担任の生活指導担当	生活指導部 全教職員	校内研修（教務・生活指導） 部活動顧問担当者会議	生活指導部 全教職員	生活指導部 全教職員
評価目標	学校運営連絡協議会実施の外部（地域）評価アンケート	学期初めの集会の服装の基準を満たさない者を減少させる	生徒の自己評価での上位項目回答が60%以上	経営計画に示された生活指導の決まりの理解85%以上	学校運営連絡協議会実施の内部（教員）評価アンケート
評価方法	アンケート結果を分析する	集会時、校門指導時の状況把握	生徒による授業評価の結果・授業研修での意見	アンケート結果を分析する	アンケート結果を分析する
結果	アンケート実施後に集計 1月集計予定	学年集会時の服装指導を受けた者の数を集計する	授業評価アンケート実施後に報告	授業評価アンケート実施後に報告	アンケート実施後集計1月集計予定
改善方法	アンケート項目の検討 公共施設等の巡回	対象者への指導方法検討	自己評価	学年指導・生活指導部による指導	家庭と連携し、対象者への指導方法を検討・改善する
備考	登校下校時の事故未然防止の立ち番や指導	特になし	特になし	特になし	特になし